

お客様 各位

## AT-VST-APL オンサイト保守サービスに関するご案内

アライドテレシス株式会社

このたびは弊社製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。

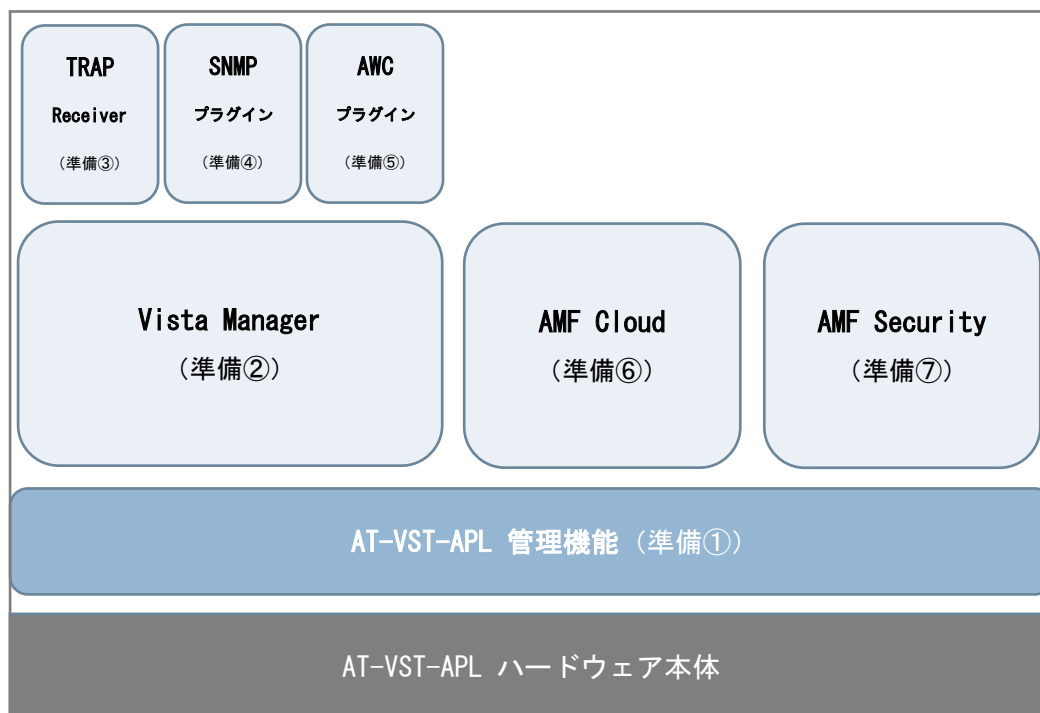
AT-VST-APL シリーズは、ネットワークの統合管理に必要な機能をパッケージ化したアプライアンスボックス製品である特性上、交換時に複数の情報から設定を復元する必要があります。以下に、オンサイト保守サービスご提供にあたっての注意事項をご案内いたします。

**【AT-VST-APL Ver.1.4.1 以下の場合】** ※Ver1.5.1 以上はUSB メモリーによる一括バックアップに対応

### ■ オンサイト交換時に必要な各種設定情報について

万が一の交換に備えて、各種設定情報を予めご用意いただきますようお願い申し上げます。アプリケーションごとに情報取得を行う必要がございます。

### システム構成イメージ



◇ 製品基本機能に関するバックアップ情報（必須）

**準備① AT-VST-APL 管理機能で必要となる各種情報**

- ・ AT-VST-APL 基本設定ファイル（製品から取得した default.cfg 形式ファイル）
- ・ 設定に必要な各種情報を任意のテキストにまとめたファイル

◇ 製品標準機能に関するバックアップ情報（利用状況に応じてご用意ください）

**準備② 標準機能 Vista Manager アプリケーションに関する各種情報（※1）**

- ・ Vista Manager アプリケーションから取得した tar.gz 形式ファイル
- ・ 設定に必要な各種情報を任意のテキストにまとめたファイル
- ・ バックアップファイルから復元できない内容の画面キャプチャファイル

※1 Vista Manager アプリケーションをご利用でない場合には、取得不要です。

**準備③ 標準機能 Trap Receiver に関する各種情報（※2）**

- ・ 設定に必要な各種情報を任意のテキストにまとめたファイル
- ・ バックアップファイルから復元できない内容の画面キャプチャファイル

※2 Trap Receiver をご利用でない場合には、取得不要です。

◇ ライセンスで利用できる機能に関するバックアップ情報（利用状況に応じてご用意ください）

**準備④ SNMP プラグインに関する各種情報**

**準備⑤ AWC プラグインに関する各種情報**

**準備⑥ AMF Cloud に関する各種情報**

**準備⑦ AMF Security に関する各種情報（一部標準で利用できる機能あり）**

**実際にご用意いただく情報の取得方法、詳細は 4 ページ以降をご参照ください。**

## ■ オンサイトサービス適用外事項について

以下に記載する事項につきましては、誠に恐れ入りますがオンサイトサービス適用外となりますので、オンサイト交換後にお客様にてご対応いただけますようお願い申し上げます。

### ・ **AT-VST-APL 交換後の各アプリケーション システム構成状況の確認**

AT-VST-APL 交換後は、利用アプリケーションのサービス実行状況の確認および管理 WEB GUI へのログイン確認までを実施いたします。

各アプリケーションでのシステム構成状況は、交換前のシステム構成を把握する必要があるため、オンサイトサービス適用外となります。

システム構成状況、各デバイス構成状況を把握・記録し、ご確認をお願いいたします。

### ・ **AWC/SNMP プラグイン利用時の Vista Manager「ネットワークマップ」の復元**

Vista Manager「ネットワークマップ」のデバイスアイコン配置をカスタマイズしている場合、プラグイン由来のアイコン配置はバックアップから復元できない仕様のため、オンサイトサービス適用外となります。

事前に設定内容を把握・記録し、手動作業で復元をお願いいたします。

<対象箇所> メインメニュー > [ネットワークマップ] ページ

## ■ その他注意事項

本製品は、各アプリケーションを統合する製品仕様上、キッティングに時間を要します。予めご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上

■別紙 オンサイト交換時に必要な各種設定情報一覧【AT-VST-APL Ver.1.4.1 以下の場合】

AT-VST-APL			ファイル形態
<b>本体</b> (準備①)	シリアル番号	機器貼付けシール S/N から始まる 16 桁の番号	任意のテキスト
	ファームウェアバージョン	AT-VST-APL WEB GUI ログイン後、[システム] > [情報] ページ「ファームウェアバージョン」を確認します。	任意のテキスト
	設定ファイル	[システム] > [ファイル管理] ページより flash に保存されている「default.cfg」の「ダウンロード」ボタンを押して保存します。	.cfg ファイル
	ログイン ID/PASS	ログイン ユーザー名/パスワード	任意のテキスト
	AT-VST-APL IP アドレス、サブネット	本体に設定した IP アドレス	任意のテキスト
	各アプリケーション利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Vista Manager</li> <li>・ Wireless Controller (AWC プラグイン)</li> <li>・ SNMP Plug-in (SNMP プラグイン)</li> <li>・ AMF Cloud</li> <li>・ AMF Security</li> <li>・ Trap Receiver</li> </ul>	[ダッシュボード] ページより「デプロイ済みアプリケーション一覧」を確認します。	任意のテキスト

アプリケーション（利用アプリケーションのみ対象）			
Vista Manager (準備②)	ファームウェアバージョン	Vista Manager WEB GUI へログイン後、[システム管理] ページ [概要] タブ「バージョン」を確認します。	任意のテキスト
	バックアップファイル	Vista Manager WEB GUI へログイン後、[システム管理] ページ [データベース管理] タブ「バックアップ」ボタンを押して生成します。	.vistamanager. mongodump.tar.gz ファイル
	ログイン ID/PASS	ログイン ユーザー名/パスワード	任意のテキスト
	Vista Manager IP アドレス、サブネット	設定した IP アドレス	任意のテキスト
	ライセンス有無  ・ インテントベースオーケストレーターライセンス ・ 無線 LAN コントローラーライセンス ・ チャンネルプランケットライセンス ・ スマートコネクタライセンス ・ SNMP マネージャーライセンス	Vista Manager WEB GUI へログイン後、[システム管理] ページ [ライセンス] タブを確認します。	任意のテキスト
バックアップファイルから復元できない 内容の設定値  ・ 一般ユーザー設定 の画面キャプチャ ・ 一般ユーザーの ユーザー名/パスワード	管理者アカウントのみ設定時は不要です。 画面スクロールが必要であれば複数に分けて画面キャプチャを取得ください。 複数ユーザー作成時は全てのユーザーごとに取得ください。 ユーザー名/パスワードは別途ご提供ください。	任意のテキスト および 画像ファイル	

<b>Trap Receiver</b> (準備③)	ファームウェアバージョン	Vista Manager WEB GUI ログイン後、 [SNMP プラグイン] > [バージョン情報] ページ「バージョン情報」を確認します。	任意のテキスト
	Trap Receiver プラグイン IP アドレス、サブネット	設定した IP アドレス	任意のテキスト
	バックアップファイルから復元できない内容 の設定値 ・ [SNMP プラグイン] > [サブネット] ページ	詳細を展開して画面スクロールが必要であれば複数に分けて画面キャプチャを取得ください。	画像ファイル
<b>SNMP プラグイン</b> (準備④)	ファームウェアバージョン	Vista Manager WEB GUI ログイン後、 [SNMP プラグイン] > [システム設定] ページ「バージョン情報」を確認します。	任意のテキスト
	バックアップファイル	Vista Manager WEB GUI ログイン後、 [SNMP プラグイン] > [システム設定] ページ「バックアップ」ボタンを押して生成します。	.zip ファイル
	SNMP プラグイン IP アドレス、サブネット	設定した IP アドレス	任意のテキスト
<b>AWC プラグイン</b> (準備⑤)	ファームウェアバージョン	Vista Manager WEB GUI ログイン後、 [AWC プラグイン] > [システム設定] ページ「バージョン」を確認します。	任意のテキスト
	バックアップファイル	Vista Manager WEB GUI ログイン後、 [AWC プラグイン] > [システム設定] ページ「バックアップ」ボタンを押して生成します。	.zip ファイル
	AWC プラグイン IP アドレス、サブネット	設定した IP アドレス	任意のテキスト
	バックアップファイルから復元できない内容 の設定値 ・ [AWC プラグイン] > [システム設定] ページ [ネットワークマップ設定]>[無線クライアント更新間隔]	設定値または画面キャプチャを取得ください。	任意のテキスト または 画像ファイル

<b>AMF Cloud</b> (準備⑥)	シリアル番号	「show system」コマンドを実行し「Serial number」の項目を確認します。	任意のテキスト
	ファームウェアバージョン	AMF Cloud CLI へログイン後、「show system」コマンドを実行し「Current boot image」の項目を確認します。	任意のテキスト
	現在の Config	ファイルは必ず「.cfg」形式でご提供ください。 「show boot」コマンドを実行し「Current boot config」の項目で起動時コンフィグに指定されているファイル名を確認し、「copy」コマンドでファイルを抜き出します。	.cfg ファイル
	ログイン ID/PASS	ログイン ユーザー名/パスワード	任意のテキスト
	AMF Cloud IP アドレス、サブネット	設定した IP アドレス	任意のテキスト
	Config 以外の移行が必要なファイル名	「dir」コマンドでフラッシュメモリに保存されているファイルを確認します。 以下、移行対象となる拡張子の“例”となります。 .cfg ファイル (過去の Config ファイルなど) .scp ファイル (スクリプトファイル) .txt ファイル (テキストファイル) .pub ファイル (リモート SSH ユーザーの公開鍵)	対象の拡張子 ファイル
	ライセンス有無	ライセンス適用状況は以下のコマンド実行結果を確認します。 「show license」 「show license external」	任意のテキスト
	SSH 機能の使用有無	SSH 機能の利用有無は「show ssh server」コマンドを実行し、SSH Server が “Enabled” の場合には SSH 機能を利用中です。下記 2 つの情報をご提供ください。 ①ホスト鍵情報の種類 「show crypto key hostkey」コマンド出力結果 ②ユーザーの公開鍵情報の確認 「show ssh server allow-users」コマンド出力結果 「show crypto key pubkey-chain userkey xxxx」コマンド出力結果 ※ xxxx には「show ssh server allow-users」コマンドで確認したユーザー名を入力します。(複数ある場合はそれぞれで複数回コマンドを実行します)	任意のテキスト

<b>AMF Security</b> (準備⑦)	ファームウェアバージョン	AMF Security WEB GUI へログイン後、[システム設定] > [システム情報] ページ「ソフトウェア情報」を確認します。	任意のテキスト
	ログイン ID/PASS	ログイン ユーザー名/パスワード	任意のテキスト
	AMF Security IP アドレス、サブネット	設定した IP アドレス	任意のテキスト
	ライセンス証書 ・基本ライセンス ・追加ライセンス	基本ライセンスは必ずご提供ください。 追加ライセンスは利用時のみ、ご提供ください。 ※証書にはシリアル番号、認証キーが記載されています。 証書の写しでも、内容のみテキスト形式の提供でも構いません。	ライセンス証書 または 任意のテキスト
	システム設定ファイル	AMF Security WEB GUI へログイン後、[システム設定] > [システム情報] ページ「システム設定」より「エクスポート」ボタンを押して生成します。	.json ファイル
	認証データ	AMF Security WEB GUI へログイン後、[システム設定] > [システム情報] ページ「認証データ」より「エクスポート」ボタンを押して生成します。	.csv ファイル
	SSL 証明書	※ 第三者機関が発行した SSL 証明書を利用している場合ファイルを提供ください。	.cert ファイル
	冗長構成	冗長構成の有無	任意のテキスト
	バックアップファイルから復元できない内容の設定値 ・[システム設定] > [トラップ監視設定] ページ「ルール」項目	複数タブある場合には、タブごとに、画面キャプチャを取得ください。 画面スクロールが必要であれば複数に分けて画面キャプチャを取得ください。	任意のテキスト または 画像ファイル

以上